

令和2年度 学長の業務執行状況の確認結果について

令和 3 年 6 月 2 8 日
国立大学法人滋賀医科大学
学 長 選 考 会 議

「国立大学法人滋賀医科大学学長選考会議規程」第2条第1項第4号の規定に基づき、令和3年6月28日開催の国立大学法人滋賀医科大学学長選考会議（令和3年度第1回）において、上本伸二学長から下記のとおり学長の業務執行状況を確認したので、公表する。

記

【確認概要】

- 日 時 : 令和3年6月28日（月） 16時04分～17時50分
場 所 : 大会議室（管理棟3階）
確認対象期間 : 令和2年度（令和2年4月1日～令和3年3月31日）
確認方法 : 学長から業務執行状況の説明を受け、質疑・応答を行った。
確認事項 : 1. 学長選考時の所信表明で示された方針に係る就任後1年度目の成果について（方針の修正を含む）
2. 第3期中期目標の達成状況及び重点的取り組み事項の成果について
3. 第4期中期目標に向けた課題と解決方針について
4. その他
確認資料 : 『学長業務執行状況報告（令和2年4月1日～令和3年3月31日）』
一別添1 「令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書」
一別添2 「令和2年度監事監査結果報告」
一別添3 「第4期中期目標・中期計画について」
一別添4 「第4期中期目標・計画（案）一覧」
一参考1 「滋賀医科大学学長像」
一参考2 「学長候補者所信表明書（上本伸二）」
一参考3 「(第3期) 中期目標・計画一覧」

【確認結果】

令和2年度における学長の業務執行状況は、「良好」である。

特に以下の点を高く評価する。

- 1) 所信表明で示した方向性について、着実かつ効果的に成果を挙げている。
- 2) 「サステナブルでアトラクティブな滋賀医科大学」を目指す方向と定め、本学の理念・使命の実現に向けて様々に心を砕いて施策を考え、実行している。

- 3) 滋賀県内の医療の中核拠点として、将来性も考慮しつつ、機能強化に努めている。
- 4) ステークホルダーとしての構成員（教職員・学生）とのコミュニケーションをとることに努めつつ、業務を遂行している。
- 5) 働き方改革等の、大学のみでは解決できない課題に対しても、可能な対策を考案し、解決に努めている。
- 6) ウィズ&アフター・コロナを見据えた医科大学、附属病院、医学・看護学教育・研究のあり方を念頭に置いて、大学を運営している。

なお、令和3年度以降への要望事項として、以下の点を挙げる。

- 1) 研究に専念できる大学院生を増やすことによる本学の研究発展と高い研究力のある若手医師の育成に関する構想について、その具体化に取り組まれるよう望む。
- 2) 3年後に迎える創立50周年に向けて、大学の施設・設備のリニューアル、附属病院のより高次の機能強化等の、意義ある計画とその進捗を望む。

以上